

ゲノム情報で予防医療

北大病院 一般向けに健康プラン

北海道大学病院は4月から、一般向けに個人のゲノム（全遺伝情報）を調べて日常生活での健康プランなどを提供するサービスを開始する。「ウェルネスプラン」の「ベリックコース」では来院時に採血し、ゲノム検査

や体内のミネラル、体脂肪などを測定する。約1時間程度で検査結果を渡す。来院は1回で済み、費用は2万円前後を見込む。さらに詳細な検査と生活全般へのアドバイスを提供する、高血圧、糖尿

病、認知症の3コースも用意する。料金は3万円、10万円必要になる。専門医が病気の発症リスクを予測し、発症予防のための食事や運動習慣について助言する。多くの病気は取り巻く環境と、個人の遺伝情報が互いに作用して発症する。遺伝情報を担う塩基の一つが他の種類に置き換わるスニップ（SNP、

一塩基多型）が、特定の病気へのなりやすさに関与していることが報告されている。北大病院が始めるサービスでもSNPを調べる。

サービスは北大病院が2023年10月に立ち上げたパーソナルヘルスセンターが提供する。同センターはゲノムを活用した個人の予防医療を手掛ける。同センターの今野哲部長は「大学病院がゲノム情報を使った予防医療を提供するのは珍しいのでは。利用を広げ、精度を上げたい」とした。